

H149 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

PDF H149 取扱説明書

各部の名称



現在の充電量を確認する

1. りゆうずの位置を 0 にする
2. ② ボタンを押す
 - 秒針が 15 秒ぶん戻る動きをしたら、充電が必要です。
 - 秒針は、「O (OK)」または「N (NO)」を指しますが、これは充電のようすとは関係ありません。
3. ① ボタンを押して終了する
現在の時刻に戻ります。
 - ボタンを押さなくても、約 10 秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

電波受信の結果を確認する

- この時計は、標準電波を毎日午前 2 時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前 2 時に受信できなかったときは、午前 3 時、午前 4 時に再度受信を試みます。

1. りゆうずの位置を 0 にする
2. ① ボタンを押す
秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
O (OK)	受信に成功しました
N (NO)	受信に失敗しました

- 受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する」の手順に従い、電波受信をしてください。
3. ② ボタンを押して終了する
現在の時刻に戻ります。
 - ボタンを押さなくても、約 10 秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

都市を設定する

- この時計では、表示中の都市によって、電波受信の受信局が異なります。ご利用の際は、都市設定にご留意ください。

1. りゆうずの位置を ① にする
秒針が動き、現在設定されている都市を指します。
2. りゆうずを回して都市を選ぶ
 - 「都市名一覧」から選びます。
 - 都市を変更することにより、その都市の時刻・日表示が表示されます。
3. りゆうずの位置を ② にして、終了する
現在の時刻に戻ります。

都市名一覧

略称と秒針の指す位置		都市名	時差	電波局
LON	0 秒	*ロンドン	0	ドイツ
PAR	2 秒	*パリ	+1	
ATH	4 秒	*アテネ	+2	
MOW/ RUH	7 秒	*モスクワ / リヤド	+3	ドイツ◆
DXB	9 秒	ドバイ	+4	中国◆
KHI	11 秒	カラチ	+5	
DEL	14 秒	デリー	+5.5	
DAC	16 秒	ダッカ	+6	
BKK	18 秒	バンコク	+7	
BJS	21 秒	北京	+8	中国
TYO	23 秒	東京	+9	日本
ADL	25 秒	アデレード	+9.5	日本◆
SYD	28 秒	シドニー	+10	
NOU	30 秒	ヌーメア	+11	
AKL	32 秒	オークランド	+12	
MDY	35 秒	ミッドウェイ諸島	-11	アメリカ◆
HNL	37 秒	ホノルル	-10	
ANC	39 秒	**アンカレジ	-9	
LAX	42 秒	**ロサンゼルス	-8	アメリカ
DEN	44 秒	**デンバー	-7	
CHI	46 秒	**シカゴ	-6	
NYC	49 秒	**ニューヨーク	-5	アメリカ◆
SCL	51 秒	サンティアゴ	-4	
RIO	53 秒	リオデジャネイロ	-3	
FEN	56 秒	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	-2	ドイツ◆
PDL	58 秒	*アゾレス諸島	-1	

- * / ** の都市では、サマータイム・標準時刻の表示が連動しています。
- 一覧表の時差は、UTC (協定世界時) からの時差です。
- 一覧表にない都市で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を設定してください。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

次へ続く

電波を手動で受信する（強制受信）

・受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

1. りゅうずの位置を 0 にする**2. (A) ボタンを 2 秒間以上押し続ける**

秒針が「R (RX)」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合：修正された時刻を表示します。

受信に失敗した場合：時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

・受信を中断したいときは、(A) ボタンを 2 秒間以上押します。

サマータイムを設定する

サマータイムを行っている地域では、標準電波にサマータイム信号が含まれます。

1. りゅうずの位置を 2 にする**2. りゅうずを回して、サマータイム設定を変更する**

設定	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。 電波を受信すると、サマータイム信号の有無によって、標準時刻 / サマータイムを自動で切り替えます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。サマータイム信号を受信しても、標準時刻表示のままです。

3. りゅうずの位置を 0 にして、終了する**時刻とカレンダーを手動で合わせる**

・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日 まで、修正不要です。（パーペチュアルカレンダー）

1. りゅうずの位置を 2 にする**2. (A) ボタンを押す**

秒針が 0 秒を指します。

3. りゅうずを回して、分を合わせる

・りゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。

4. (A) ボタンを押す

時が合わせられるようになります。

5. りゅうずを回して、時を合わせる

・りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。

・日表示が切り替わったときが午前 0 時です。午前 / 午後を間違えないよう注意します。

6. (A) ボタンを押す

日表示が合わせられるようになります。

7. りゅうずを回して、日表示を合わせる

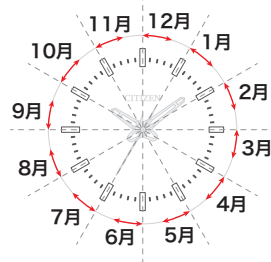
・りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。

8. (A) ボタンを押す

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

9. りゅうずを回して、年と月を合わせる

・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例) 2015 年 4 月に合わせるときは
4 月 → 4 時の範囲
2015 年 → うるう年から 3 年目



・りゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。
りゅうずを少し回すと止まります。

10. 時報に合わせて、りゅうずの位置を 0 にする

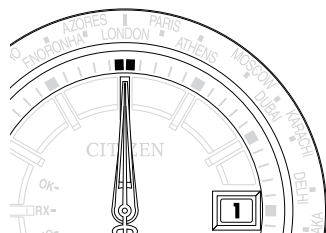
秒針が動きはじめます。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を ① にする
2. Ⓑ ボタンを 5 秒間以上押し続ける

各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。

- 針と日表示が動いている間は、操作をすることはできません。
- 正しい基準位置：
すべての針が 12 時位置、
日表示が「1」



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. りゅうずの位置を ② にして、確認を終了する

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を ① にする
2. Ⓑ ボタンを 5 秒間以上押し続ける
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
3. りゅうずの位置を ② にする
4. Ⓐ ボタンを押す
時針がわずかに動きます。
5. りゅうずを回して、時針を「0 時」に合わせる
• りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して回転します。
りゅうずを少し回すと止まります。
6. Ⓐ ボタンを押す
分針と秒針が動きます。
7. りゅうずを回して、分針を「0 分」、秒針を「0 秒」に合わせる
• りゅうずを素早く回転させると、分針と秒針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
• 秒針と分針は連動します。
8. Ⓐ ボタンを押す
日表示がわずかに動きます。
9. りゅうずを回して、日表示を「1 日」に合わせる
• りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
10. りゅうずの位置を ② にして、終了する
時刻表示に戻ります。

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を ② にする
2. Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押す
秒針が 0 秒の位置まで動き、時針と日がわずかに動いてオールリセットされます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、都市の設定を行い、手動で電波を受信して（強制受信）、時刻とカレンダーを合わせ直してください。